

南北戦争をへて 発展したアメリカ



独立後、独自の発展を遂げた
アメリカ合衆国は、
南北戦争をへて
世界一の工業国へと発展した。

**工業中心の北部の勝利で
世界最大の工業国となったアメリカ**

独立後のアメリカは、1803年にフランスからルイジアナを購入したことを皮切りに、アメリカメキシコ戦争でカリフォルニアを獲得するなど領土を拡大していった。また、対外的には、ヨーロッパとの相互不干渉を基本方針としていたが、ナポレオン戦争に乗じてイギリスが通商妨害を行うと、これに対抗して12年にアメリカイギリス戦争を開始。この戦争で貿易が一時中断したことによりアメリカの国内工業は保護され、とくに北部諸州では綿工業などが発展することとなった。

アメリカ合衆国領土の確定と南北戦争



独立後のアメリカは、1803年にフランスからルイジアナを購入したことを皮切りに、アメリカメキシコ戦争でカリフォルニアを獲得するなど領土を拡大していった。また、対外的には、ヨーロッパとの相互不干渉を基本方針としていたが、ナポレオン戦争に乗じてイギリスが通商妨害を行うと、これに対抗して12年にアメリカイギリス戦争を開始。この戦争で貿易が一時中断したことによりアメリカの国内工業は保護され、とくに北部諸州では綿工業などが発展することとなった。

一方、南部諸州は奴隷制プランテーションによる農業中心の産業構造を確立しており、保護関税政策を求める北部とは対照的に、自由貿易政策を主張していた。西部開拓が進み、新たな州が誕生するようになると、新しくできた州に奴隷制の拡大を認めるか否かで南北の対立は深まるようになった。そして1860年に奴隷制に反対する共和党のリンカンが大統領に就任すると、南部諸州は合衆国からの脱退を宣言し、翌61年にアメリカ連合国を結成、南北戦争が始まった。リンカンは62年の自営農地法(ホームステッド法)によって西部農民の支持を得、63年の奴隷解放宣言で内外の世論を味方につけたことで北部に勝利をもたらした。

リンカン アメリカ合衆国第16代大統領。ケンタッキー州の開拓農家に生まれる。1860年に共和党から立候補して大統領に当選。南北戦争では連邦の維持を第一義に掲げ、奴隷制の廃止については当初消極的だった。有名なゲティスバーグの演説での「人民の、人民による、人民のための政治」は、パーカー牧師の著作からの引用。南部支持者の俳優によって暗殺された。

Key Word

リンカン
[1809~65年]